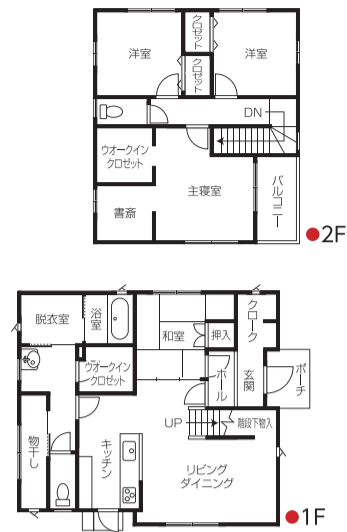




客間としても利用可能な大壁の和室(正面)。玄関から直入れのドアが付いている



建築工法 / 木造軸組工法
 建築面積 / 71.52㎡
 延床面積 / 120.50㎡
 完成日 / 2018年8月



新居での暮らしを満喫しているTさんご夫妻。左は担当の泉さん

頑丈で快適、家事・家計ラク 子育てのしやすいZEH+長期優良住宅

誠実な対応が決め手

「先を見据えて子育てのしやすい家づくりを心掛けました」と語る20代のTさんご夫妻。パートナーに選んだのは、「ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)+長期優良住宅」の家づくりを行っているユーカーホーム浦野建設だった。

ご夫妻と同社は、不思議な縁で結ばれている。30年前、ご主人の実家がアパートを建てた際に、お世話になっただけでなく、その後に奥さまの実家を手掛けたのも浦野建設だった。

「もちろん、ハウスメーカーなどにも相談しました。その中で最も誠実に対応してくれたのが浦野建設の担当者でした」と、ご夫妻は同社に決めた理由を率直に振り返る。

入居から4カ月。頑丈で快適、しかも家事がしやすく、家計にもやさしいのが子育て住宅の基本。この条件をすべて満たしてくれるマイホームを手に入れたご夫妻は、満足そうに笑みを浮かべた。



日当たりがよく暖かなリビング。日中はこたつの電気を入れなくても過ごせるほどだ

家事がしやすい動線



浴室や洗面・脱衣室などと直結しているサンルーム(右)。左は車いすでも入れるトイレ

薄墨色で統一した重厚な外観。あずき色の屋根には6.1kWの太陽光発電システムを搭載した。窓枠や軒天井は白でそろえ、外壁とのコントラストを芸術的に際立たせた。

室内の天井や壁は、「明るく、広く感じられるように」(奥さま)と、外壁とは対照的に白を基調としている。家族団らんの場となるリビングは、対面式のキッチンやダイニングとの間仕切りがなく、一体となって広々とした空間に。和室(4.5畳)の引き戸を開ければ、開放感がぐんと広がる。リビング階段下を壁で仕切らず、リビングの一部として利用するなど、空間づくりにも工夫を凝らす。共働きの奥さまに好評なのが、便利な家事動線だ。洗面や脱衣室、浴室がサンルームと一直線につながっている。「洗濯したらすぐに室内干しができ、乾いた後は洗面室横のクロゼットにしまうことができます」とうれしそうに話す。



リビング階段の踊り場付近にあるフィックス窓から明るい光が室内に差し込む

「家事ラク」の家づくりを掲げる浦野建設ならではの、玄関の土間収納や2階のウォークインクロゼットなど、片付けに便利な収納スペースも各所に設置されている。

暖かい家を日々実感

長期優良住宅仕様なので、耐震性や耐久性、省エネ性などにも優れている。とりわけ、基礎や壁、天井などに高性能の断熱材を使用し、高气密・高断熱を維持。開口部の窓は樹脂サッシのアルゴンガス入りLow-E複層ガラスを採用して、ZEHの原動力となっている。

「とても暖かい家であることを日々実感しています」とご夫妻。暖房はエアコン1台でほとんど間に合うという。リビング階段の踊り場付近には、大きなフィックス窓が設置されており、明るい光がリビングに差し込む。パッシブデザインによって、昼間は無暖房でも過ごせる。太陽光発電による売電で、年間の光熱費が黒字になることを、お二人は今から楽しみにしている。

庭にはご主人の愛車専用のガレージと、広い駐車場が整備されている。「子どもができた後のことや来客のことを考えて、6台分の駐車スペースを確保しました」とご主人。「群馬は1人1台の土地柄ですから」と話す口元に笑みがこぼれた。



薄墨色の外壁と軒の赤や白のコントラストが目を引く玄関



担当者からひとこと(営業部課長・泉俊治)

奥さまの要望で、家事がしやすい間取りの家に仕上がりました。わが社は働く女性のための応援住宅として、「家事ラク」「掃除ラク」「家計ラク」「メンテラク」という4つのラクを合わせ持つ

ZEHを推奨しており、子育て世代にとっても人気があります。T邸はこれにピッタリ合致しました。今後、新たに加わる家族とともに、末永くマイホームの生活を楽しんでいただきたいと思います。